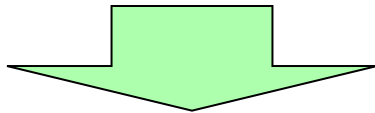


沼津市(北陸・中部圏ブロック)

【計画期間 21年12月～27年3月】

- ・江戸期：東海道の宿場町、城下町として発展
- ・明治～：兵学校等軍関係施設立地、政財界人等の保養地化
- ・昭和～：県東部の商業拠点として活況、行政面も機能集約

- 郊外化や周辺市町における機能集積による相対的地位の低下
- 人口減とそれに伴う生活関連サービス機能の低下
- 建物の老朽化や交通環境の悪化

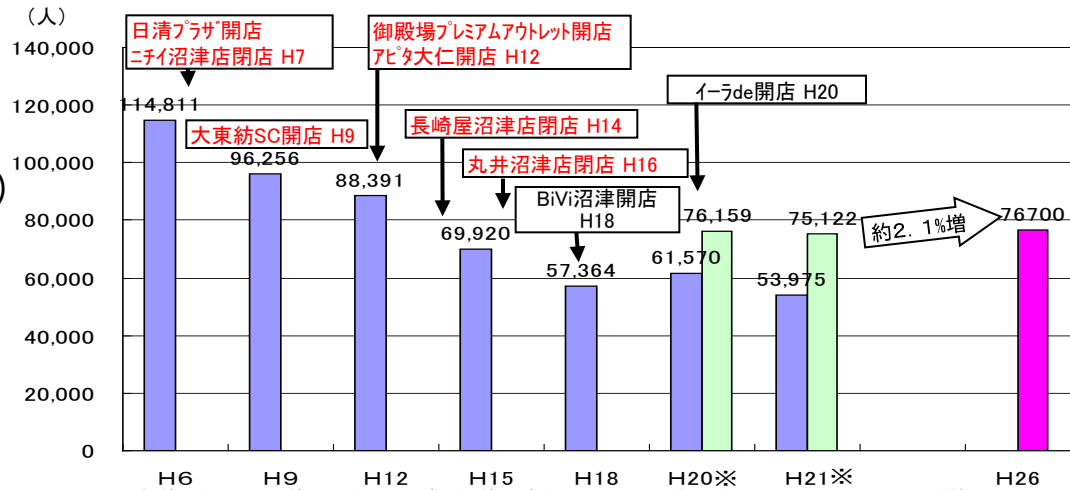


- 歩行者・自転車通行量の減少
H9: 96,256人/日 → H20: 61,570人/日 (▲36.0%)
※日曜日12地点

- 中心市街地の居住人口
H9: 23,000人 → H20: 22,357人 (▲2.8%)

目標	指標	現況値 (H21)	目標値 (H26)
広域拠点都市にふさわしい魅力ある都市機能の集積	中心市街地の歩行者・自転車通行量 (日曜日、12地点)	75,112人	76,700人 (約2.1%増)
多様なライフスタイルに応える便利で快適な居住環境の創造	中心市街地の居住人口	22,357人	23,850人 (約6.5%増)

【歩行者・自転車通行量の推移と数値目標(日曜日・12地点)】



※数値目標の現況値(緑色)及び目標値(赤色)は、12調査地点における日曜日の合計値。調査地点は従前の調査地点と一部相違(測定値は青色)。

■ コンベンション施設の整備や商業地の再整備、中央公園等の整備・賑わい創出により、広域拠点にふさわしい魅力ある都市機能を集積し、交流人口の拡大を目指す。

⇒ 主要事業: ① 東部コンベンションセンター整備事業、② 町方町等まちづくり推進事業、③ 中央公園整備事業など

■ 駅前の土地利用の高度化や高齢者賃貸住宅の供給促進により、多様なライフスタイルに応える便利で快適な居住環境を創造し、定住人口の確保を目指す。

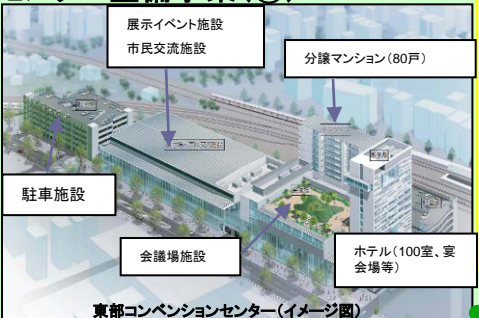
⇒ 主要事業: ④ 土地区画整理事業、⑤ 地域優良賃貸住宅供給事業など

沼津市中心市街地活性化基本計画の事業概要

広域拠点都市にふさわしい魅力ある都市機能の集積

○ 東部コンベンションセンター整備事業(①)

旧国鉄施設跡地を活用し、国際会議開催が可能な会議場や展示イベント施設を中核とし、市民交流施設、ホテル、分譲住宅、駐車場等を整備し、賑わいを創出する。



東部コンベンションセンター(イメージ図)
※沼津駅構内を通過し駅南北を繋ぐ自由通行化を図る。

○ 町方町等まちづくり推進事業(②)

大型店との連携を図ると共に、住民・地権者の出資によるまちづくり会社を中心に老朽化した町方町等地区を居住、商業、コミュニティ等複合的に構成された空間へ再生し、賑わいを創出する。



○ 中央公園セントラルパーク構想(③)

水辺環境に恵まれる中央公園、狩野川沿いを健康づくりやカフェ等憩いの場として整備し、賑わいを創出する。



○ 沼津港との連携

年間100万人が訪れる沼津港と沼津駅(2km)の間に休息所設置、ペロタクシー、バス、渡し船の運行等魅力的な動線を設け、中央公園、駅周辺等の賑わいを創出する。

多様なライフスタイルに応える便利で快適な居住環境の創造

○ 土地区画整理事業等(④)

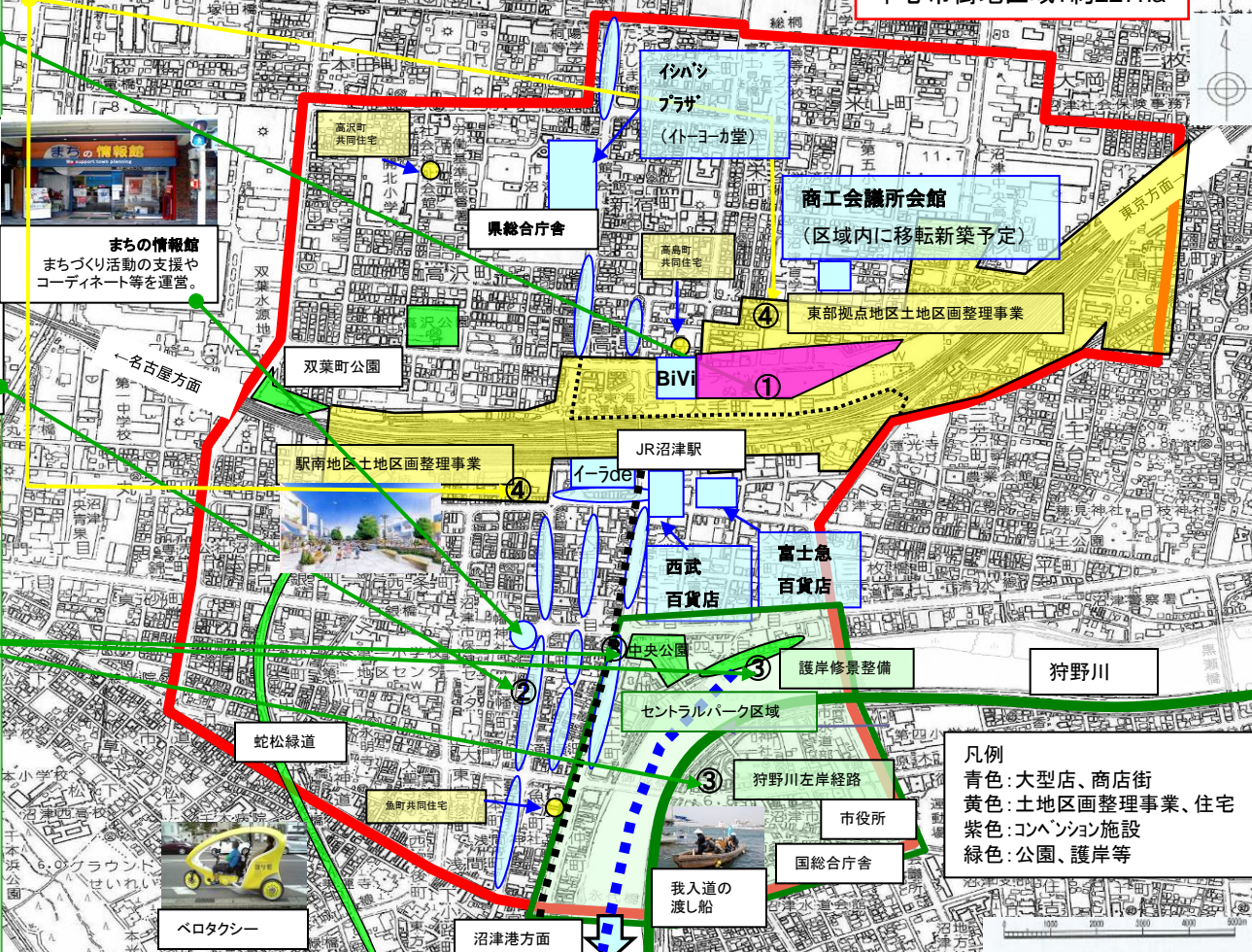
沼津駅付近連続立体交差事業に併せ、静岡県東部拠点地区(30.6ha)、駅南地区(15.4ha)の土地区画整理事業を推進し、有効利用されていない土地の高度利用を促進し、居住人口の増加を図る。

○ 都市型住宅の供給

民間投資により分譲住宅等を整備し、居住人口の増加を図る。
 ・大手町共同住宅(東部コンベンションセンター、80戸)
 ・魚町共同住宅(80戸)
 ・高島町共同住宅(46戸)
 ・高沢町共同住宅(30戸)等

○ 地域優良賃貸住宅供給事業(⑤)

地域住宅交付金により、高齢者向けの良好な住環境を持つ賃貸住宅の供給を促進するため、建設に要する費用の一部を補助する。



中心市街地区域: 約227ha

凡例
 青色: 大型店、商店街
 黄色: 土地区画整理事業、住宅
 紫色: コンベンション施設
 緑色: 公園、護岸等